

グループインタビューの結果

1. 目的

対象者の個々の価値観や健康観・QOL等、対象者の現状を明らかにし、問題を抽出する。

2. 実施日

平成14年11月16日～27日

3. 実施結果

分野	対象参加人数	主な内容
妊娠 出産期 (胎生期)	妊婦 8人	どんな思いで生活しているか ・妊娠がわかってうれしかった。それを機に家事を手伝うなど奥さんをいたわる気持ちができる。 妊娠中の生活実態の把握
	妊婦の夫 5人	・つわりがひどい時には辛かったが仕事は休めなかった。 ・妊娠して仕事をやめた。 安心して妊娠, 出産する条件 ・妊娠初期から周囲の人がいたわってくれるような支援や夫の協力が得られれば辛さも乗り越えられたと思う。 ・必要な情報がわかりやすく, 気軽に入手できるようにしてほしい。
乳 幼児期	保育園の親 7人	どんな思いで生活しているか ・父親は単身赴任による不在や帰宅が遅く, 子どもと接する時間が少ない。 ・母親は子どもと過ごす時間が長いため, 自由な時間が取れず, ストレスが多く, 子どもに優しくできない。
	幼稚園の親 9人	生活実態の把握 ・専業主婦は「3食昼寝つき」と言われるが, 実際は自分の時間はほとんどなく, 子育てと家事に追われている。 ・気分転換できる場所へ参加し, ストレスを解消している。
	在宅児の親 6人	安心して子育てする条件 ・保育園を含め子どもを預かるサービスや, 子ども連れて安心して出かけられる場所があるとゆとりを持って子育てができる。 ・子育ては, 夫婦で一緒にするという意識をもってほしい。

分野	対象 参加人数	主な内容
青少年期(思春期)	小学生 9人	生活実態の把握 ・学習塾・ピアノ・習字など，習い事をしている子が多い。 ・学校の給食の方が家より楽しいが，味は家の方が美味しい。 ・女の子は太らないようにしようとしているが食事は食べている。
	中学生 10人	周囲との関わり方について ・女の子は友達関係にストレスを感じている。 ・親は怒るだけでなく，子供の話や気持ちも聞いてほしい。 元気に充実した生活を送るための条件 ・睡眠をよくとること。 ・何でも話せる同性の友達や異性の友達がいると元気でいられる。
	高校生 8人	日頃の思いや生活実態の把握 ・朝食はお腹がすくのできちんと食べている。 ・夜遅くまで起きていると朝食を食べない習慣がある。 健康を阻害する要因について ・親や教師の喫煙による受動喫煙が問題であると考えている。 ・やらなくてはいけないことが多くて睡眠時間がとれない。 健康づくりに取り組める条件 ・「性」に関する話を専門家から聞きたい。 ・友達がいて，将来の夢があること。
思春期の親 5人	どんな思いで生活しているか ・兄弟がいる場合には，子供と1対1になれる時間を作り，話を聞くようにしている。 ・一人目のときの子育ては，期待をかけすぎたり，よくわからず一生懸命になってしまい，余裕がなかった。 子供と接する上で困っていること ・携帯電話の普及により，子どもの交友関係が見えなくなり，不安である。 安心して子育てするには ・家庭での性教育については，小さい頃から隠さずに答えている。 ・困った時に同じ問題を抱える人と話しをできる場があるとよい。 相談先をわかりやすくしてほしい。	
実施回数 9回，参加者数 67人		

4. 参加者

対 象	氏 名
妊婦	石塚直美 伊藤恵美 尾形まりこ 川島かずえ 是国幸子 三宅任子 森本恵子 山崎典子
妊婦の夫	伊藤和則 尾形正典 是国和彦 三宅淳史 森本佳位
保育園児の親	朝倉歌子 金子明澄 後藤令子 塩田愛子 田部井智恵子 平岡亜希子 山口康
幼稚園児の親	青木みさ子 市川尚子 小花由美子 小牧英夫 片柳二郎 中川明佳子 沼保周子 橋本裕子 松板暁子
在宅児の親	猪股清子 岩城友子 金子和美 篠崎優子 中山晴美 永嶋珠美
小学生	豊郷中央小学校(9名)
中学生	陽南中学校(10名)
高校生	柏崎健志 勝田沙織 北川眞帆 君島邦彦 斉藤千亜紀 鈴木真美 若山俊介 渡邊大
思春期の親	石田佳奈子 池田衣公子 藤田由未子 松田和江 山下みどり